大腸内視鏡検査説明書

● 大腸内視鏡検査とは

内視鏡と呼ばれる人差し指ぐらいの太さの管を肛門から入れ、直腸から大腸全部と小腸末端部を検査する方法です。
大腸癌検診目的、便に血が混じったり、便秘や下痢などの便通異常やその他に大腸の異常が疑われる場合に行います。内視鏡で直接病変をみる事により、大腸粘膜の状態・ポリープが良性か悪性かを調べるために切除するのが一般的になっており、さらにポリープの大半は切除することがそのままの治療につながります。

● 検査の手順

下剤を飲んでいただき、大腸内の便をすべて取り除きます。大腸内が綺麗でないと正確な診断が困難になります。排便状態により浣腸をしたり、場合によっては検査を中止する場合があります。大腸内が空になったら肛門から内視鏡を入れ検査を行います。
当院では、少しでも検査を楽に受けていただく為に原則として鎮痛剤や鎮静剤を使用します。検査後しばらくの間眠気が残ります。しっかり目覚めた後帰宅していただきますが、車やバイク、自転車等での来院はご遠慮ください。なお薬剤による副作用やアレルギーの出ることがありますが、その都度対処します。

● 検査の危険性

検査あるいは処置での合併症として、ごく稀ですが、偶発症(0.069%)(出血・穿孔・ショック等)もありえますので外来での点滴や場合によっては病院への搬送の可能性があります。また帰宅後～数日後に腹痛や発熱、下血のある場合もあります。その時はご連絡の上、来院して下さい。

● 検査後

食事・飲酒・運動・旅行・仕事・入浴などに注意や制限が必要になることがあります。医師や看護師等に説明をお聞きください。

● 下記の病気のある方はお申し付けください

心臓病・脳梗塞・血管の病気・前立腺肥大・緑内障・糖尿病で治療中の方は内服薬を一時中止していただく事がありますので申し出ください。
抗凝固療法中止期間、抗血栓作用減弱によるリスク(脳血栓・心筋梗塞など)が高まることがあります。

● 大腸ポリープ等、処置が望ましい病変が見つかった場合、どのような処置を希望されますか？

（当院ではポリープの大きさにもよりますが、当日にポリープ切除可能です。）

大腸内視鏡検査(治療)承諾書

● 大腸ポリープ等が、処置が望ましい病変が見つかった場合、下記の処置を希望します。

希望される番号に〇をつけてください

①当日ポリープの切除を希望　②今回は決められないので日を改めます　③ポリープが見つかってもとらないでください

橋本クリニック　院長　橋本忠雄殿

私は上記の治療を受け、内容を理解し同意します。

年　月　日

患者氏名　印

代理人　印　本人との続柄(　)